

活動報告書

1 団体名 NPO 法人マックネットシステム
2 活動内容 ① 別府市に在住する外国人の対応についてどのような課題があるかアンケート調査を実施する（実施対象：別府市内の医療機関および教育機関） ② 別府市に在住する外国人の困りごとに対して、個別支援を提供し課題解決を行う「在住外国人生活サポーター」を養成する。養成講座は、①英語通訳者向け、②社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有するソーシャルワーカー向けの講習会を実施する。
3 活動期間 令和6年8月1日から令和7年3月15日まで
4 活動実施内容 1. 別府市内の医療機関及び教育機関（小・中・高）へのアンケート調査 2024年8月～9月：アンケート調査の為にインタビュー調査を実施（医療関係者3名、教育関係者3名）し、アンケート調査票を作成した。 2024年10月：医療機関（110箇所）、教育機関（28箇所）へアンケートを送付（解答率：医療機関25%、教育機関32%） 2024年12月：外国人生活サポーター養成講座の実施（通訳部門2名、ソーシャルワーク部門5名）講師：関西学院大学 池埜聡先生、別府医療センター 井上祥明先生 2025年1月～3月：外国人生活サポーターの活動開始
5 活動の成果 1. アンケート調査結果 ① 医療機関：主に病院からの回答が多く、特に急性期病院では通訳対応で苦慮している現状であった。返答があったクリニックからは特に問題となる項目はなく、稀に通訳（英語及び中国語）が必要と感じている程度であった。 ② 教育機関：小学校では通訳対応に苦慮している現状であった。特に保護者への通訳対応に苦慮しており支援体制の整備が明らかになった。中・高では英語教諭により対応が主であった。 2. 外国人生活サポーター養成講座 2名の通訳支援担当および5名のソーシャルワーク担当者を養成した。2025年1月よりサポート事業を開始し延べ12人の支援を行った。主な業務は通訳支援であった。
6 反省点や今後の目標 アンケート調査では解答率が低く、公的機関との協働体制が必要と感じた。外国人生活サポーターの派遣については広報不足が著明であり、一部の医療機関からの依頼が主であった。次年度以降は広報活動に力を入れ、外国人生活サポーターの活動を充実させたい。